

平成25年度

博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [採択時公表]

機関名	政策研究大学院大学	機関番号	12703
1. 全体責任者 (学長)	<small>※ 共同申請のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、申請を取りまとめる大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。</small> <small>(ふりがな)</small> 氏名・職名 しらいし たかし 白石 隆 (政策研究大学院大学)		
2. プログラム責任者	<small>(ふりがな)</small> 氏名・職名 きたおか しんいち 北岡 伸一 (政策研究大学院大学学長特別補佐)		
3. プログラム コーディネーター	<small>(ふりがな)</small> 氏名・職名 そのべ てつし 園部 哲史 (政策研究大学院大学学長特別補佐)		
4. 申請類型	U <オンリーワン型>		
5.	プログラム名称	グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム	
	英語名称	Advanced Program for Global Leaders in the Changing World	
	副題		
6. 授与する博士 学位分野・名称	Ph.D. in Advanced Policy Studies		
7. 主要分科	(①) (②) (③) ※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入		
	政治学、経済学、地域研究		
8. 主要細目	(① 政治学) (② 国際関係論) (③ 経済政策) ※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入		
	財政学・金融論、経済史、地域研究		
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)	政策研究科政策専攻		
10. 連合大学院又は共同教育課程による申請(構想による申請も含む)の場合、その別 ※ 該当する場合には○を記入			
連合大学院		共同教育課程	
11. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)			

(機関名:政策研究大学院大学 申請類型:オンリーワン型 プログラム名称:グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム)

15. プログラム担当者一覧

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成26年度における役割)
(プログラム責任者) 北岡 伸一	キタカ シンイチ	64	政策研究大学院大学・学長特別補佐	日本政治外交史 法学博士	プログラム統括、運営委員会委員、基礎 講座講義・チュートリアル担当
(プログラムコーディネーター) 園部 哲史	ソノベ テツシ	52	政策研究大学院大学・学長特別補佐	開発経済学 Ph. D. (経済学)	プログラムのコーディネーター、運営委員会委 員、基礎講座・チュートリアル担当
山本 吉宣	ヤマモト ヨシノブ	70	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・客員 教授	国際政治学 Ph. D. (政治学)	先進国政策課題クラスターのチュートリアル担 当
原 洋之介	ハラ ヨウノスケ	69	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・特別 教授	農業経済学、経済 発展論 農学博士	運営委員会委員、途上国政策課題クラス ター責任者、チュートリアル担当
堀江 正弘	ホリエ マサヒロ	65	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・特別 教授、グローバルリーダー育成センター所長	行政学 MPA (行政学)	基礎講座担当
恒川 恵市	ツネカワ ケイイチ	65	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	政治学 Ph. D. (政治学)	運営委員会委員、新興国政策課題クラスター責 任者、基礎講座講義・チュートリアル担当
大塚 啓二郎	オオツカ ケイジロウ	64	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	開発経済学 Ph. D. (経済学)	新興国政策課題クラスターおよび途上国政策課 題クラスターのチュートリアル担当
有本 建男	アリモト タケオ	64	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	科学技術政策 修士 (物理化学)	グローバル政策課題クラスターのチュ ートリアル担当
金本 良嗣	カネモト ヨシツグ	63	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	都市経済学、公共 経済学 Ph. D. (経済学)	新興国政策課題クラスターのチュートリ アル担当
今野 雅裕	イマノ マサヒロ	61	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	教育政策、文化政 策 文学士	運営委員会委員
大田 弘子	オオタ ヒロコ	59	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	公共経済学、経済 政策 社会学士	先進国政策課題クラスターのチュートリ アル担当
島崎 謙治	シマザキ ケンヂ	58	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	社会保障法、医療 政策論 教養学士	先進国政策課題クラスターおよび新興国政策課 題クラスターのチュートリアル担当
大辻 義弘	オオツジ ヨシヒロ	57	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・客員 教授	アジア経済論、多 国籍企業投資動向 LLM (法学)	グローバル政策課題クラスターのチュ ートリアル担当
Munro Alistair	モンロー アリスティア	51	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	公共経済学、環境 経済学 Ph. D. (経済学)	グローバル政策課題クラスターのチュ ートリアル担当
松永 正英	マツナガ マサエイ	50	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・特任 教授	開発援助論 法学士	途上国政策課題クラスターのチュートリ アル担当
黒澤 昌子	クロザワ マサコ	50	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	労働経済学、計量 経済学 Ph. D. (経済学)	方法論基礎講座の講義担当
増山 幹高	マサヤマ ミキタカ	48	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・客員 教授、学長特別補佐	日本政治、議会制 度、計量分析 Ph. D. (政治学)	プログラム運営委員会委員、先進国政策課題クラス ターのチュートリアル、先進国政策課題クラスター責任者
Estudillo Jonna P.	エステーデーロ ジョナ	47	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	経済学 Ph. D. (経済学)	途上国政策課題クラスターのチュートリ アル担当
道下 徳成	ミチノカ トクナガ	47	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・准教 授	安全保障、戦略研 究 Ph. D. (国際関係 学)	先進国政策課題クラスターおよびグローバル政 策課題クラスターのチュートリアル担当
角南 篤	カクミ アツシ	47	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・准教 授、科学技術イノベーション政策プログラム ディレクター代理	科学・産業技術政 策論、公共政策論 Ph. D. (政治学)	方法論基礎講座の講義および先進国政策課題ク ラスターのチュートリアル担当
Patarapong Intarakumnerd	パタラポン インタラクムナー	41	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	科学技術政策 Ph. D. (科学技術政 策)	方法論基礎講座の講義およびグローバル政策課 題クラスターのチュートリアル担当
鬼丸 武士	オニマル タケシ	39	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・助教 授	アジア国際関係 史、 比較地域研究 博士 (地域研究)	プログラム運営委員会委員、歴史基礎講座での講義、 グローバル政策課題クラスターのチュートリアル、グ ローバル政策課題クラスター責任者
杉原 薫	スギハラ カオル	64	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	グローバル・ヒス トリー、アジア経 済史 博士 (経済学)	歴史基礎講座の講義およびグローバル政策課題 クラスターのチュートリアル担当
黒川 清	クロカワ キヨシ	76	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・シニ アフェロー	医療政策、人材育 成、危機管理 医学博士	先進国政策課題クラスターおよびグローバル政 策課題クラスターのチュートリアル担当
武田 文男	タケダ フミオ	60	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	災害対策、危機管 理 博士 (情報学)	グローバル政策課題クラスターのチュ ートリアル担当

(機関名: 政策研究大学院大学 申請類型: オンリーワン型 プログラム名称: グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム)

15. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成25年度における役割)
安藤 尚一	アントウ ショウイチ	55	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・教授	都市防災政策 博士(工学)	グローバル政策課題クラスターのチュートリアル担当
Kanchoochat, Veerayooth	カンチュウチャット ベーラユース	33	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻・助教授	政治経済学・東南 アジア地域研究 Ph. D.	方法論基礎講座の講義担当
韓 昇洙	ハン スンス	76	大韓民国第39代国務総理	国際関係論 Ph. D. (経済学)	リーダー養成基礎講座の講義担当
Ginandjar Kartasasmita	ギナンジンジャーカール カルサスマタ	71	インドネシア大統領諮問会議委員、元インドネシア経済・金融・産業担当調整大臣	経済政策 Ph. D.	リーダー養成基礎講座の講義担当
Thanong Bidaya	タン ビダヤ	65	タイ・タップウオーター・サプライ会長、元タイ財務大臣	財政・金融政策 Ph. D. (経済学)	リーダー養成基礎講座の講義担当
石毛 博行	イシガ ヒロユキ	62	日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事長	国際経済学 経済学士	グローバル政策課題クラスターのチュートリアル担当
Khoo Boo Teik	クー ブー テック	58	日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター・上席主任研究員	東南アジア政治研究 Ph. D. (政治学)	Emerging Countries Clusterのチュートリアル担当
武内 進一	タケウチ シンイチ	51	日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター・アフリカ研究グループ長	アフリカ研究、国際関係論 博士(学術)	途上国政策課題クラスターのチュートリアル担当
本名 純	ホナ ジュン	45	立命館大学国際関係学部国際関係学科(兼)国際関係研究科・教授	比較政治学、インドネシア政治研究 Ph. D. (政治学)	グローバル政策課題クラスターのチュートリアル担当
長谷川 閑史	ハセカワ ヤスチカ	66	武田薬品工業 代表取締役社長、経済同友会代表幹事	国際企業戦略 学士(政治経済)	基礎講座等における講義及び学生とのディスカッション、並びに産業界の視点から本プログラムの内容、運営等全般に関する助言
中原 秀人	ナカハラ ヒデト	62	三菱商事株式会社 代表取締役副社長執行役員	企業経営、国際企業、危機管理 学士(法)	基礎講座等における講義及び学生とのディスカッション、並びに産の視点から本プログラムの内容、運営等全般に関する助言
坂根 正弘	サカネ マサヒロ	72	コマツ(株式会社 小松製作所) 取締役相談役	国際企業戦略、危機管理 学士(工学)	基礎講座等における講義及び学生とのディスカッション、並びに産の視点から本プログラムの内容、運営等全般に関する助言

(機関名:政策研究大学院大学 申請類型:オンリーワン型 プログラム名称:グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム)

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

<本プログラムの概要>

本学位プログラムでは、歴史や深い教養に裏打ちされた大局観を持ち、長期的かつ複眼的で幅広い視野からの確かな判断ができる能力を有し、新しい世界秩序・地域秩序の形成に参画する意思と能力を併せ持った、国家・国際機関・産業界などの各界で指導的な役割を果たしうるトップリーダー(Leader of Leaders)を養成する。

世界は今、大きな変化と深刻な危機に直面している。これは、グローバル化の進展や新興国の台頭等による世界的な富と力の分布の変化、根源的な価値観や利害の対立、既存のグローバル・ガバナンスの仕組みやルールの機能不全などに起因する。その結果、金融危機やテロ、エネルギー問題、環境問題等の諸問題を従来の枠組みや手段では解決できなくなっている。これらの危機や問題を根本的に解決し、新たな時代を切り開くためには、(1)偏狭な価値観や歴史観を超克し、直面する諸課題を過去から未来へとつなげる時間軸の中に位置づけ、様々な角度から検討することで問題の本質を見抜く大局観を持ち、(2)個々の課題に実効性ある処方箋を提示することができる課題分析能力と、(3)さらには自己の見解を言語や文化、歴史、宗教、民族、国籍などの違いを越えてより多くの人に分かりやすく伝えることができるコミュニケーション能力を兼ね備えた人材が不可欠である。このような人材は専門家養成に重点を置いた、従来の人材育成の在り方では育てることは出来ない。

このような問題意識を基に、本学は、これまでの政策領域における人材養成の豊富な実績を踏まえ、新たな学位プログラムを開発する。このプログラムでは、これまで日本では重視されてこなかった歴史や教養を基礎に据え、学生の「物の見方(perspective)」を徹底的に鍛え上げる。これにより、特定分野に特化した専門家ではなく、多くの分野を架橋して、新しい国内・国際秩序形成に指導的な役割を果たすことができる各界のトップリーダーを養成することを目的とする。さらに、本学位プログラムで開発する新しいトップリーダー養成モデルを国際的に発信し、この分野で世界的にもオンリーワンの大学院となることを目指す。

<特色・優位性>

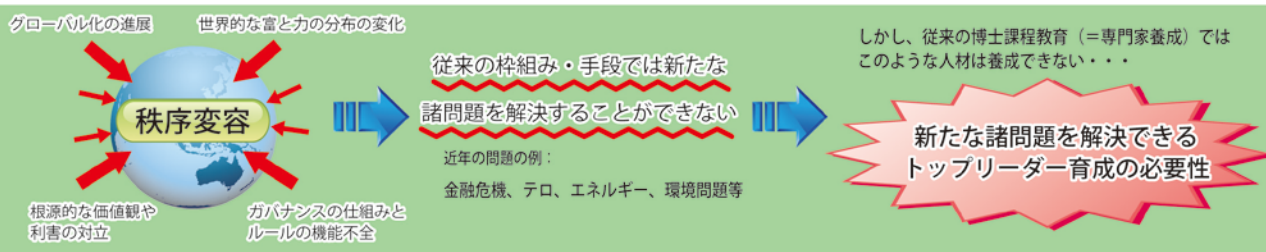
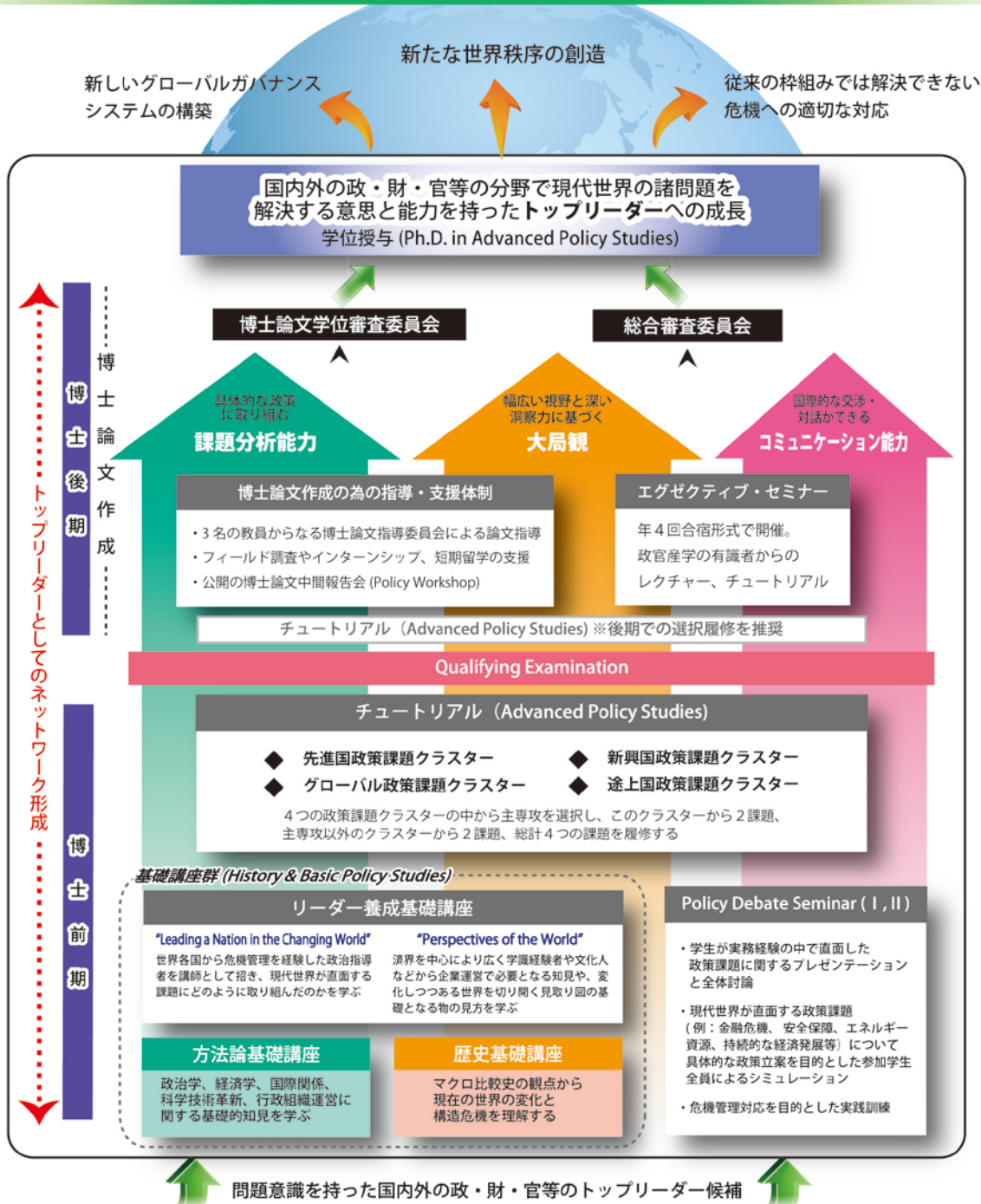
- 国内外から実務経験のあるミッドキャリアのプロフェッショナルを学生として受け入れ、彼らを政・財・官等で活躍できるトップリーダーとして養成する。
- カリキュラムはすべて英語で提供し、日本人学生と留学生とが共に学び、国籍、文化、専門を超えて競争し協力できる能力を涵養する。
- トップリーダーとして必要な大局観、課題分析能力、コミュニケーション能力をバランスよく養成できるカリキュラムを提供する(歴史や教養の重視、少人数のチュートリアル必修化等)。また、論文のみならず、課題対応力審査委員会等、大局観についても適切に評価する仕組みを導入し、学位の質を保証する。
- 危機管理対応時に必要とされる判断力やリスクコミュニケーション能力等を、実践に即したシミュレーション等を通じて養成する。
- 実際に危機管理をおこなった経験を有する政・財・官・学の各界の指導者を国内外から招いて基礎講座やエグゼクティブ・セミナー等で講師を務めてもらい、その経験からリーダーとしての資質と教養を身に付けさせる。
- トップリーダーとして活躍するための財産となる、教員や有識者、学生間のネットワークを形成することができる。

なお、本学では日本人学生と外国人学生の比率はすでに1対2となっており、海外からは、特に新興国、発展途上国から、毎年、多くの優秀な学生を受け入れている。学生の圧倒的多数はミッドキャリアの行政官で、修了生の中には、自国、あるいは国際機関で、すでに次官、局長等、幹部となっている者も少なくない。本学位プログラムでは、本学のこれまでの人材養成の経験や培った人脈を最大限活用し、対象を行政官に限らず政・財界等にも広げ、時代が必要とする新しい資質を有する人材を養成するカリキュラムを構築、実施する。

学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。

グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム



機 関 名	政策研究大学院大学
プログラム名称	グローバル秩序変容時代のリーダー養成プログラム
<p data-bbox="185 315 336 344">[採択理由]</p> <p data-bbox="185 367 1433 725">ミッドキャリアの実務経験者に、高度の専門性だけでなく巨視的な問題俯瞰力を習得させ、国際的な舞台で指導的役割を果たせる Leader of Leaders を養成しようとする構想はユニークで、「オンリーワン」型のプロジェクトにふさわしく、かつ社会的重要性も大きい。重要な問題領域を大きくクラスター化し、クラスター内の課題と取り組む能力とクラスター間を横断できる視野とを育成するための教育プログラム上の工夫もよく図られている。また、本申請機関は、研究者として高い評価を受けるとともに豊かな国際活動経験をもつ優秀な人材を教員として多く有しており、在学生に留学生がきわめて多く、英語での授業が中心となっているなど、国際的な指導者養成という目的を達成するために必要な人的資源と教育環境上のメリットを十分備えている。</p> <p data-bbox="185 736 1433 931">本申請目的は、もともと本申請機関の創設の目的をなす「建学の理念」であって、大学院教育改革の推進という本助成の目的とそぐわないのではないかとの懸念もあったが、ヒアリングの結果、従来の教育実績をさらに発展させ、教員の世代交代を推進するための組織改革を図ることなどが意図されていることが明確になり、博士課程教育リーディングプログラムの目的にも適合すると判断するに至った。</p>	